

陳情文書表

【令和4年3月定例会議】

受理年月日	受理番号	提出者	付託委員会
令和4年1月7日	陳情第1号	小松島市坂野町字黒地6番地の11 上甲 雅敏 賛同者他20名	文教厚生 常任委員会

(件名・要旨)

エコステーション設立のための陳情書

【陳情の趣旨】

私たちの日常生活から排出される二酸化炭素をはじめとする地球温暖化効果ガスの影響で、異常気象が発生したり、自然災害が頻発したりして、私たちの生活が脅かされています。それは日本だけではなく世界中の問題となっています。この事実から目を背けることはできません。

私たちは生活の中で、ごみを必要以上につくりだしています。調理くず、残飯、包装紙、プラスチックパック等数え上げればきりがありません。しかし、これらのごみは分別すれば資源となるものがたくさんあります。物に対する考え方を見直し、ごみを分別することによって、ごみを減らすことは可能です。しかし、ごみを当たり前のように捨て、捨てた後のことまで考えようとはしません。

市民がごみ処理について話し合ったり、相談したり、協力し合ったりする場があればどれだけよいでしょうか。「まだ使えるから捨てるのはもったいないなあ」、「誰かもらってくれないか」と考えても、多くの場合大型ごみ、粗大ごみ、資源ごみへの道です。なかなかリユースとはいきません。

資源ごみをいつでも持っていくことができる、欲しいものと交換できる、ごみ情報を得ることができる、ごみについて相談できる等、そんなことのできる場所—エコステーションがあれば市民のごみへの意識は強くなっていくでしょう。

【陳情の項目】

1. 小松島市にごみ減量を推進するエコステーションを設立してください。
2. そのための実証実験を市主催で行ってください。

以上、市に対して要望していただくよう陳情いたします。